

令和2年8月17日

ご利用者様
ご家族・後見人様

社会福祉法人青鳥会
理事長 牧 美 輝
(公印省略)

虐待事実の報告とお詫び

残暑お見舞い申し上げます。

新型コロナウイルスの関係で、特別な夏を迎えていますが、皆様におかれましては日ごろから青鳥会の運営にあたりご理解とご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

さて、この度、誠に申し訳ないことですが、当法人においてご利用者様へ次の虐待事案があったことが判明しました。

- ・今年 4/28、男性支援員 A が脱衣場で、ご利用者様の陰部を掴んで動きを制した行為（性的虐待）
- ・今年 2/2、男性元支援員 B が、男性ご利用者様の裸の写真を撮り、他職員にラインで送付した行為（性的虐待）
- ・昨年 12/22、男性元支援員 C が余暇室で、ご利用者様を背後から蹴った行為（身体的虐待）
- ・3～5 年前、男性元支援員 B が、余暇室でご利用者様に卑猥な動画を見せた行為（性的、心理的虐待）

以上の各事実は、当法人の調査、及び鹿児島市への調査報告、鹿児島市による調査の結果により確認されたものでございます。

当法人職員によるご利用者様への虐待事案が発生したこと及び法人としての管理体制に不行き届きがあったことについて、ご利用者様、ご家族様のご心痛に対して衷心よりお詫び申し上げます。

これまで私どもは、青鳥会法人理念「私たちは、ノーマライゼーションの理念に基づく福祉サービスを提供し、だれもが人として尊重され、当たり前で暮らせる社会づくりに貢献します。」に基づき「利用者本位の支援、その人らしい暮らしの実現」に向けご利用者様へのサービスの提供に努めて参りましたが、今回の事案を教訓として真摯に反省し、法人全体で今後一層虐待防止、障害福祉サービスの向上に取り組んで参る所存でございます。

具体的には、当法人内に外部委員を含む「虐待防止委員会」を新たに設置するとともに、これまで各事業所に設置していた「人権擁護委員会」の充実強化、さらには虐待通告に関する周知徹底、利用者様の人権擁護、権利擁護等について研修や支援技術の向上等、虐待防止のために、管理者はじめ全職員の意識改革・意識向上に努めて参りますので、今後ともご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

なお、7月28日付で鹿児島市より「障害者虐待防止・障害者の養護者に対する支援等に関する法律に基づく調査結果及び指導について」（通知）を受け取りました。当法人といたしましては、この通知を受けて、現在、改善計画を作成しているところでございます。当該計画を提出いたしましたら、改めてご報告申し上げますので重ねてよろしくお願い申し上げます。

最後に、今回の件改めてお詫び申し上げますとともに、みなさまのご健勝を祈念致します。

【お問合せ先】

社会福祉法人 青鳥会 法人事務局（担当：萩原^{ハギハラ}・森^{モリ}） TEL：099-295-3017